

～レポート作成にあたって～

第5回のレポートでは、「日本人の思想」について学習します。日本人は古来の神々の思想や仏教、江戸時代の朱子学・武士道や明治以降のキリスト教など、あらゆる考えに影響を受けています。これらについて第5回・第6回のレポートで学んでいきます。

【1】古代日本人の思想<教科書140頁～143頁>

《学習のポイント》

日本人は自然に神々を見だして崇拝する習慣を持っていました。この日本人のもの見方・考え方のルールはどのようなところがあるか考えてみましょう。

- 問1 (1)・(2)教科書141頁本文「神話の世界」を参照。
(3)～(6)教科書142頁・143頁本文「清明心」を参照。
問2 教科書140頁・141頁本文「日本の風土と生活」2段落目を参照。
問3 ここは自由に考えてよいです。10字以上で記述をしてください。

【2】日本の仏教思想<教科書144頁～155頁>

《学習のポイント》

日本の仏教は、ブツダの仏教から独自の変化を遂げています。皆さんは、「お経で唱える言葉」と聞いたら何を想像しますか？「なむあみだぶつ」ですか？「なんみょうほうれんげきょう」ですか？？実はこの2つは唱える宗派（お経）が異なります。同じ仏教でも中身が違う。その違いについて今回は学びましょう。

- 問1 (1)教科書144頁本文「聖徳太子と和の精神」を参照。
(2)～(4)教科書144頁・145頁本文「鎮護国家」を参照。
(5)教科書145頁本文「神仏習合」2段落目を参照。
問2 ※ここは本文タイトルに答えが含まれるため、該当のページ数のみ掲載します。
①～⑦は記号で答えることになっていますので気をつけてください。
(1)・①教科書146頁を参照。 (2)・②教科書146頁・147頁を参照
(3)・③教科書148頁を参照。 (4)・④教科書149頁を参照。
(5)・⑤教科書150頁を参照。 (6)・⑥教科書151頁を参照。
(7)・⑦教科書152頁を参照。

【3】伝統思想の成熟<教科書156頁・157頁>

- 問1 教科書156頁本文「無常観と美意識」を参照。
問2 教科書157頁本文「芸道の精神」を参照。※わびを説明しないこと。

【4】江戸時代の思想<158頁～169頁>

《学習のポイント》

朱子学の影響で、日本では「礼儀を重んじること」「秩序を守ること」「学び続けること」が大切だと考えられるようになりました。この考え方は、今でも日本の文化や人々の価値観に影響を与えています。江戸時代には、この朱子学を批判する様々な学問も生まれます。それらについてもしっかりと理解しましょう。

問1 ※ここは本文タイトルに答えが含まれるため、該当のページ数のみ掲載します。

(1) 教科書 158 頁・159 頁を参照。 (2) 教科書 160 頁を参照。

(3)～(5) 教科書 161 頁・162 頁を参照。

(6) 教科書 164 頁・165 頁を参照。 (7) 教科書 167 頁を参照。

問2 教科書 168 頁本文「町人出身の儒学者たち」を参照。ここは自分の考えを自由に書いてよい。

問3 教科書 169 頁本文「農村からの思想」を参照。

【5】論述問題①②《教科書196頁～211頁》

《学習のポイント》

ここでは、A～Hのうち2つを選んで自分の考えを書いてもらいます。教科書2ページで1つのテーマについて取り上げています。(各見開きのページの右下にある「課題を探究しよう」からこの問題は持ってきています。)教科書の内容を理解すると書きやすくなると思いますので、該当のページをよく読んで解答してください。

A：教科書 196 頁・197 頁を参照。

B：教科書 198 頁・199 頁を参照。

C：教科書 200 頁・201 頁を参照。

D：教科書 202 頁・203 頁を参照。

E：教科書 204 頁・205 頁を参照。

F：教科書 206 頁・207 頁を参照。

G：教科書 208 頁・209 頁を参照。

H：教科書 210 頁・211 頁を参照。

《解答のポイント》

今回は問題によって問われていることが様々なので、

①「その問題に回答しているか」

②「自分の考えとして書けているか。」の2点を採点基準とします。

▲悪い例「A：出生前診断～の問題」

私は、出生前診断や着床前診断を用いて子どもを産んでも産まなくてもよいと思います。異常や遺伝病のない胎児を選んで生むことも可能なので、この技術を歓迎する人もいますが、生命を選別する優生思想につながることを懸念する人も少なくありません。

①については、自分の立場をはっきりさせてかけていません。

②については、教科書の内容そのまま、自分の意見とはいえません。

《NHK 高校講座・QRコード》



第28回

日本人のものの考え方



第29回

日本人の宗教観と倫理観



第30回

日本人の美意識



第31回

仏教の受容と発展



第32回

儒教の日本的展開



第33回

西洋思想との出会い